

森林教室(こども樹木博士認定試験)を行いました

5月31日(火)、滝沢市青少年交流の家にて八幡平市立安代小学校・田山小学校5学年児童22名へ森林教室を行いました。

当日の天気予報は、あいにくの雨でしたが、森林教室実施中は、なんとか雨に降られることなく行うことができました。

今回は、全国森林レクリエーション協会が作成した「こども樹木博士」認定試験を行いました。内容は、15本の試験木を設定し、15本のうち、正解数が11本が初段、以下1~10級までの称号となります。

まず、岩手北部森林管理署職員が、それぞれの木の幹や葉の特徴・名前の由来などを説明し、児童は熱心にメモを書き、試験に臨みました。試験木はフィールドに点在していることから、児童たちは走りながら探索して、じっくり考えながら回答用紙に答えを書き込んでいました。

採点結果は、なんと全員初段の称号でした。児童たちが一生懸命木の名前を覚えてくれたことに感謝です。終了後、アンケートを提出してもらい、「もっと木の名前をおぼえたい」「鳥や花の勉強もしてみたい」などの声が寄せられました。次回以降の森林教室に反映していきたいと思います。

新型コロナウイルス感染状況は未だ収束の兆しが見えませんが、今後も感染防止措置を徹底しつつ森林教室を継続していきます。



いざ、樹木博士に挑戦開始!



木の特徴を懸命にメモります



ホオの葉での遊び(お面)



こども樹木博士称号授与



降雨のため屋内での閉会となりました